

312圧力容器を起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2020	3	5 ～ 6	織布工場内コンプレッサー室で、エア配管バルブの開放を終えて退出しようとした。その際、近くにあったレシーバータンクの安全弁に激突し、頸部を捻挫した。	35	3	10203	100 ～ 299
2	2020	4	14 ～ 15	掘削作業現場で、4立目タンク（160cm）内に設置してあった4脚を取り出すために上り、作業後、左足から下りた際に地面が斜めになっており左足首に捻挫を負った。	25	3	30199	1～ 9
3	2020	6	20 ～ 21	釜内部洗浄後、抽出釜を元の状態に戻す際、抽出釜を固定する止めピンと、ステージの間に左手中指を挟み粉碎骨折した。	19	7	10109	100 ～ 299
4	2020	7	14 ～ 15	事業所工場で鏡板のひも出し作業中、鏡板をひも出し機にセットする際、鏡板を持ち上げたとき、腰に激痛が走った。	61	19	11301	10 ～ 29
5	2020	9	16 ～ 17	大豆を蒸す圧力釜（直径3000mm、高さ2300mm）の内側を高圧洗浄していた際、足を滑らせて転倒し、左脇腹を強打して肋骨を折った。	42	2	10109	30 ～ 49
6	2020	11	9 ～ 10	だし抽出釜の蓋が破損し、熱湯が掛かり、顔・右足に火傷を負った。	24	11	10109	10 ～ 29
7	2020	11	9 ～	だし抽出釜の蓋が破損し、熱湯が掛かり、顔・右足に火傷を負った。	52	11	10109	10 ～

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。